

3月
定例会の
あらまし

平成28年3月定例会は2月16日から3月10日まで24日間にわたって開かれ、初日には28年度の町長施政方針が述べられました。町長提案の議案57件を審議し、1件を否決、56件を原案のおり可決しました。(2〜4頁) また、請願1件を一部採択し、意見

書を提出しました。(4頁) 28年度予算8件は予算特別委員会を設置して3日間にわたり集中的に審議しました。(5〜7頁) 一般質問では11人の議員が登壇し、活発な議論が行われました。(8〜18頁)

今後10年間の山田町を描く

総合計画基本構想を策定

長期的視点から本町が

目指すべき姿を展望し、計画的な行政運営を図るために「山田町総合計画(第9次長期計画)基本構想」を定めました。平成28年度から10年間の構想の期間とし、この10年間は総合計画を大きな柱としてまちづくりを進めていくこととなります。

基本構想では、まちづくりの基本理念と目標、土地利用の方針、目標を達成するための基本方向を定めています。

まちづくりの目標は「個性豊かに人が輝きま

基本理念

本町が将来にわたり発展していくため、町独自の豊かさ、本町らしさを追求しながら、「ひと」、「まち」の豊かな個性を輝かせ、最大限に生かすことが必要です。そのためには、それぞれの個性を尊重しあうことも必要不可欠です。本町に関わる全ての人の英知を結集し、適切な役割分担のもと、それぞれが責任を全うしていかなければなりません。

「ひと」を中心に、「ひと」一人一人を大切にし、世代を超え、「まち」全体で育んでいくことによ

り、本町に関わる全ての「ひと」がこの「まち」に誇りと愛着を、また、安心と安全を実感できるまちづくりを進めていきます。
※一部抜粋・要約しています

〈総合計画ってなに?〉

総合計画は、将来、どのような「まち」にしていくのか、そのために誰が、どのようなことをしていくのかを、総合的・体系的にまとめたものです。町の福祉や都市計画、環境といった全ての計画の基本となり、「まちづくりを進めていくための道しるべ」と言えます。